

2013年3月11日公開の沖合課題に対しまして、以下の2件のコメントを頂きました。ありがとうございました。コメントおよびそれに対する回答（青字）は以下の通りです。

## 1. 秋山秀樹（北水研）

### 1) 9. 主な実施機関と実行組織

本文5～7行目に主な実施機関名が挙がっているのですが、「それぞれの特徴を生かし、」とだけ記されていて、内容が不明瞭です。文字数にまだ余裕がありますので、もっと具体的な担当課題を記載する必要があると考えます。

### 2) 10. これまでの準備状況

本文7行目に「データ同化システム」および「予測システム」とありますが、具体的な名称（略名称）を追記した方がイメージ・アップにつながると思います。

### 3) 11. 科学者コミュニティの合意状況等

本文6行目のURLですが、途中に「####」が入っています。これではアクセス先が検索出来ません。修正してください。

1) については、「9：主な実施機関と実行組織」の中で、研究面についてもより具体的な担当課題を記載するようにいたしました。2) については、今後の予測システム運用に自由度を残すため、具体的な名称を記載しませんでした。ご理解頂ければと思います。3) ですが、将来構想委員会報告書の改訂版を公開するWebアドレスが、本草案の発表時には未定だったため、このような表記となりました。現在は、適切なアドレスが入っております。

## 2. 池田元美

海洋に属するコンポーネント（物理、化学、生物）間の相互作用、異なるスケール間の相互作用に注目しており、適切な構成である。将来計画委員会の計画案に対する意見を的確に取り上げていただいたことに感謝する。異なるスケール間の相互作用が持つ役割の一例（おそらく物理過程）を入れると、具体性が増すはずである。社会的価値の中に緊急事態への対応を入れるとインパクトが増すであろう。

「5：学術的な意義」の中で異なるスケール間の相互作用（特に物理過程の）を意識した書き方をしたつもりでおります。この欄にさらに加筆してスケール間相互作用を強調することも検討いたしましたが、字数の都合上これ以上他の内容を削ることができませんでした。ご理解頂ければと思います。「13：社会的価値」の中に、緊急時対応への貢献について加筆しました。